

②第1分科会

起業教育ワークショップ

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」の活用

大阪商業大学 経済学部

准教授 柴田 孝

起業教育研究会の第1分科会は、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」への取り組みを検討いただいている先生方を対象に開催しています。全国高等学校ビジネスアイデア甲子園（以下、ビジネスアイデア甲子園とする）は、2002年に第1回を開催しており、本年度で22回目の開催となります。この間、多くの高等学校ならびに生徒のみなさんにご参加いただいております。2023年度（第22回）は、全国124校から6,501件のアイデアを応募いただきました。

ビジネスアイデア甲子園では、生徒の皆さんが応募のためにプランを考えることを通じて、世の中の商品・サービスに込められた創意工夫や、人々のニーズにどのようにこたえているのかを理解し、ビジネス提供側の視点を獲得することを期待しています。



大阪商業大学起業教育委員会は、ビジネスアイデア甲子園に取り組む皆様の手がかりになることを願い、活用ガイドを作成してきました。活用ガイドは、アイデアを考える方法を解説した「アイデアについて考えよう」や、アイデア発想のためのワークシートのほか、応募用紙の書き方ガイダンスに加えて、過年度の入賞作品を紹介しています。今回の第一分科会では、「アイデアについて考えよう」に掲載している『オズボーンのチェックリスト』を紹介し、参加いただいた皆様でチェックリストからの発想を実践することに取り組みました。

オズボーンのチェックリストは、原典にあたるべきですが、本年度発行の全国高等学校ビジネスアイデア甲子園活用ガイドによれば、『1. 他に使い道はないか、2. 他からのアイデアを借りたら、3. 意味や形を変えたら、4. 拡大したら、5. 縮小したら、6. 代用したら、7. 読み替えした

ら（アレンジし直すと）、8. 逆にしたら、9. 違う要素を組み合わせたら』と示されています。

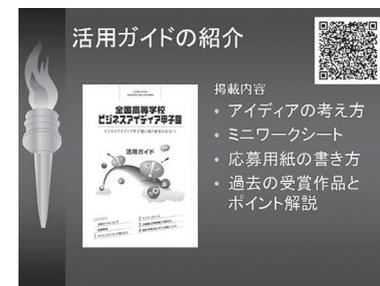
このチェックリストを用いて、参加いただいた皆様に、当日提示したテーマで9個のチェックリストを使った発想に取り組んでいただきました。チェックリストすべての項目をつかうのに苦しむことも多々ありましたが、自分で考えることのほかに、他の人の発想にふれるという目的は達成できたのではないのでしょうか。



活用ガイドの紹介

掲載内容

- アイデアの考え方
- ミニワークシート
- 応募用紙の書き方
- 過去の受賞作品とポイント解説



起業教育は、実際に起業するためのノウハウを考えるというよりも、世の中を楽しく便利にしていくためにながができるかを考える人を育てることを目指しています。全国高等学校ビジネスアイデア甲子園は、社会を観察し世の中を楽しく便利にするビジネスアイデアを披露することで、応募者本人もですが、他の高校生のアイデアから刺激を受ける場でもあると考えています。この分科会をきっかけにビジネスアイデア甲子園にチャレンジを勧めていただけたら幸いです。

引用文献

大阪商業大学(2023)『全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 活用ガイド』pp.3-4